

2011年1月11日(火)

報道関係者各位

笹川平和財団

【SPF 日米交流プログラム】
エリオット・コーエン博士の来日に伴う個別取材のご案内

笹川平和財団 (SPF) は、1月10日～19日にかけて、エリオット・コーエン博士(ジョンス・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院教授)を招聘しています。これに伴い、報道関係者の皆様へ個別取材をご案内します。取材をご希望の方は、以下の担当までご連絡下さい。

笹川平和財団 日米交流プログラム担当(野崎、藤本)
電話: (03) 6229-5439 Fax: (03) 6229-5473 Email: nozaki@spf.or.jp

***当日通訳は付きませんので、取材は英語で行って頂きます。予めご了承下さい。**

コーエン博士略歴:現在は、ジョンス・ホプキンス大学高等国際研究大学院(SAIS)のロバート・E.オズグッド・戦略研究教授。同大学院フィリップ・メルル戦略研究所の創設者でもある。著書に『戦争と政治とリーダーシップ』(中谷和男訳、アスペクト、2003年)、『軍事的不運—戦争における失敗の分析(仮訳)』(ジョン・グーチ氏との共著)などがある。1991年の湾岸戦争に関する米国海軍の公式研究を統括し、防衛政策委員会を初めとする数々の政府諮問機関の委員を務めた経験をもつ。2007年—2009年には国務省の参事官を務める。

滞在期間中、コーエン博士は前原外務大臣や安部元総理を初めとする国内の有識者・政策立案者と会談するほか、13日には講演会「America's Strategic Choices アメリカにとっての戦略的選択肢」(17:00-18:30、於 日本財団ビル2階)を行います。ご興味のある方はSPFのウェブ・サイトからお申込みください(http://www.spf.org/event/article_6525.html)。

今回の招へいは、2008年7月からSPFが実施している「日米交流促進に向けて:日米オピニオンリーダー交流」事業の一環として行われるものです。同事業は、日米両国のオピニオンリーダー間で重層的な交流を促進することにより、将来的に発言力のある知日派・知米派を輩出し、両国の知的交流基盤を強化することを目的としています。過去に、ノーマン・ミネタ氏(元商務長官・運輸長官)、ウィクター・チャ氏(ジョージタウン大学准教授、戦略国際問題研究所韓国部長)、ロバート・ケーガン氏(カーネギー国際財団上級研究員)、チャールズ・カブチャン氏(ジョージタウン大学教授、外交問題評議会シニアフェロー)らが来日しています。